

流通BMS普及説明会 名古屋会場

# 流通BMS導入のポイント

エヌアイシー・インフォトレード株式会社  
2009年11月6日

## ◆ アジェンダ

1. 弊社の特長・業務内容のご紹介

2. これまでの流通BMS導入経験について

3. 流通BMS導入の流れ

4. 導入時の注意点

5. 導入後の注意点

6. 最後に

1. 弊社の特長・業務内容のご紹介

2. これまでの流通BMS導入経験について

3. 流通BMS導入の流れ

4. 導入時の注意点

5. 導入後の注意点

6. 最後に

## 1. 弊社の特長・業務内容のご紹介

私たちは、ツールのご提供だけでなく、新しい仕事の仕方そのものをご提案します。



花王様の企業活動の中で培ってきた企業間連携。エヌアイシー・インフォトレード株式会社は、そのシステム・ノウハウを **EDIPACK Solution** としてまとめ、1996 年以来、具体的な製品群を市場に投入してまいりました。

### <役員>

代表取締役 野村 雅行  
取締役 土岐 守  
取締役 五十嵐 俊道  
取締役 星 善徳  
取締役 土田 英紀  
監査役 栗澤 哲夫

### ■ 設立

1996年6月

### ■ 資本金

50百万円（日本情報通信株式会社100%出資）

### ■ 事業内容

- ①花王グループ企業及び、他社へのASPサービス
- ②ステンレスとステールドラム缶リサイクルASPサービス
- ③パッケージソフトウェアの開発・販売・保守  
**EDIPACK21**、**iEDIPACK**、**EDIPACK/OMS**、**EDIPACK/Translator**
- ④自社のソリューションをコアにしたシステム・インテグレーション

**EDIPACK®Solution**

1. 弊社の特長・業務内容のご紹介

2. これまでの流通BMS導入経験について

3. 流通BMS導入の流れ

4. 導入時の注意点

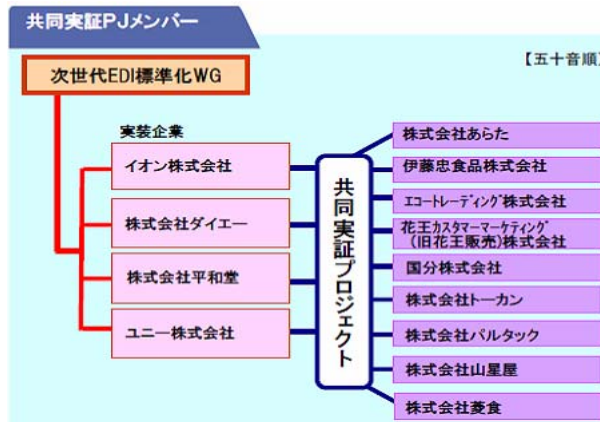
5. 導入後の注意点

6. 最後に

## 2. これまでの流通BMS導入経験について

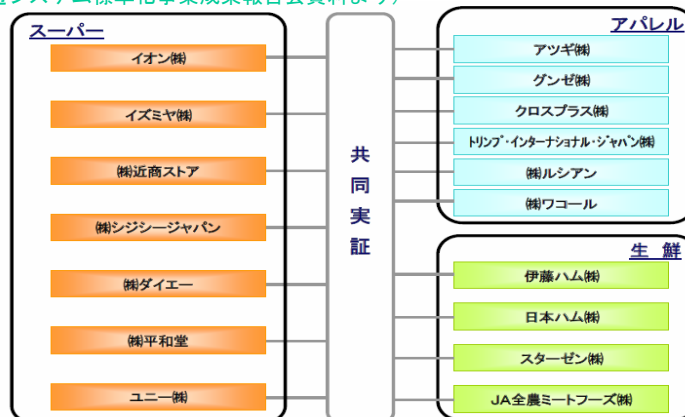
### 【平成18年度共同実証】～グロサリー（加工食品・雑貨）～

（財団法人 流通システム開発センター ホームページより）

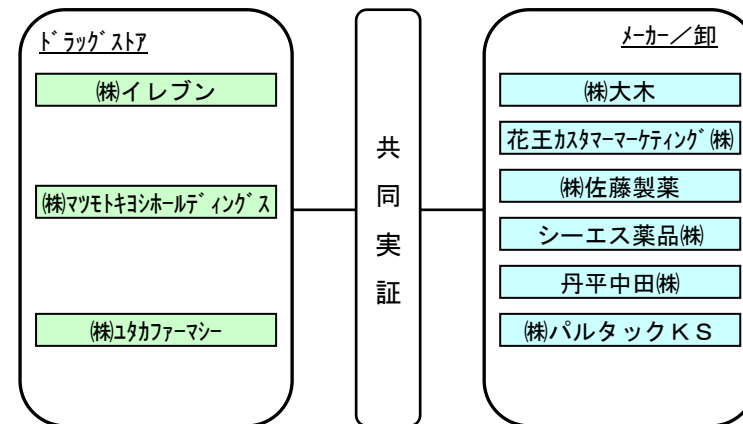


### 【平成19年度共同実証】～アパレル・生鮮～

（平成19年度流通システム標準化事業成果報告会資料より）



### 【平成20年度共同実証】～チェーンドラッグストア～



EDIPACK®Solution

**【パッケージ販売の実績】**

● **流通BMS導入実績**

- |              |                |
|--------------|----------------|
| ・ 大手家電メーカー   | ebXML          |
| ・ 大手小売業      | ebXML、JXサーバー   |
| ・ 中堅アパレルメーカー | JXクライアント       |
| ・ 大手食肉卸業     | ebXML          |
| ・ 大手乳製品メーカー  | ebXML          |
| ・ 大手製パンメーカー  | JXクライアント       |
| ・ 中堅雑貨/化粧品卸  | JXクライアント (PC版) |
| ・ 大手文具卸      | ebXML          |
| ・ 大手薬粧卸      | ebXML          |

● **直近の流通BMS導入予定**

- |            |          |
|------------|----------|
| ・ 大手アパレル卸  | ebXML    |
| ・ 大手食品メーカー | ebXML    |
| ・ 中堅食品卸商社  | JXクライアント |

1. 弊社の特長・業務内容のご紹介

2. これまでの流通BMS導入経験について

3. 流通BMS導入の流れ

4. 導入時の注意点

5. 導入後の注意点

6. 最後に



### 3. 流通BMS導入の流れ

#### 【流通BMS対応のパッケージソフトを導入する場合】

<b>通信環境整備</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 流通BMSで使用するGLNの取得（持っていない場合）：お客様</li><li>・ グローバルIP取得：お客様</li><li>・ ドメイン名決定（例：ebxml.xxx.niandcinfotrade.co.jp）：お客様</li><li>・ 流通BMS対応電子証明書発行申請申し込み：お客様</li><li>・ サーバ証明書受理：お客様</li><li>・ サーバ証明書のWEBサーバーへの登録：お客様、NICサポート</li><li>・ お客様ネットワークポリシーに基づくセキュリティー設定（ファイアー・ウォールなど）：お客様</li></ul>
<b>通信テスト</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 流通BMS標準協定シート作成：お客様、NICサポート</li><li>・ 流通BMS標準協定シートの取引先様との交換：お客様</li><li>・ サーバ証明書交換：お客様</li><li>・ 通信パラメータのEDIソフトウェアへの登録：お客様、NICサポート</li><li>・ 送信・受信の疎通確認：お客様、NICサポート</li></ul>
<b>基幹業務の対応</b>	<p>この部分はお客様でやっていただく工程でございます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 流通BMSのXMLフォーマットから社内システムへの取り込み</li><li>・ 流通BMSの特徴である出荷作成時の発注項目引継ぎのしくみ</li><li>・ 場合によっては、基幹システムの変更対応</li></ul> <p>※XMLデータと社内システムのフォーマット変換については、弊社のフォーマット変換ソフトにてサポート可能です。</p>

<p><u>運用テスト</u></p>	<p>通信環境、基幹業務のしくみが完成した後は、本番さながらの 発注＞出荷＞受領＞請求＞支払の流れで、運用テストをしばらくの間、実施します。 通常は、発注＞出荷＞受領と、請求＞支払で分けて実施される場合が多いと思われます。</p>
<p><u>本番運用開始</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本番切替シナリオ決定</li> <li>・ 本番開始・・・JCAからの切替の場合は、先日付データの扱いを取引先と綿密に調整する 必要があります。</li> </ul>

【ASPサービスを利用する場合】

<p><u>通信環境整備</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通BMSで使用するGLNの取得（持っていない場合）：お客様</li> <li>・グローバルIP取得：お客様</li> <li>・セキュリティ設定（ファイアウォールなど）：お客様</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>ASP環境に、設定済みのため、 作業の必要がありません。</b></p>
<p><u>通信テスト</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通BMS標準協定シート作成：お客様、NICサポート</li> <li>・流通BMS標準協定シートの取引先様との交：お客様</li> <li>・サーバー証明書交換：お客様</li> <li>・通信パラメータのEDIサーバーへの登録：お客様、NICサポート</li> <li>・送信・受信の疎通確認：お客様、NICサポート</li> </ul>
<p><u>基幹業務の対応</u></p>	<p>この部分はお客様でやっていただく工程でございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流通BMSのXMLフォーマットから社内システムへの取り込み</li> <li>・流通BMSの特徴である出荷作成時の発注項目引継ぎのしくみ</li> <li>・場合によっては、基幹システムの変更対応</li> </ul> <p>※XMLデータと社内システムのフォーマット変換については、弊社のフォーマット変換ソフトにてサポート可能です。</p>

<p><u>運用テスト</u></p>	<p>通信環境、基幹業務のしくみが完成した後は、本番さながらの 発注＞出荷＞受領＞請求＞支払の流れで、運用テストをしばらくの間実施します。 通常は、発注＞出荷＞受領と、請求＞支払で分けて実施される場合が多いと思われます。</p>
<p><u>本番運用開始</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本番切替シナリオ決定</li> <li>・ 本番開始・・・JCAからの切替の場合は、先日付データの扱いを取引先と綿密に調整する 必要がございます。</li> </ul>

1. 弊社の特長・業務内容のご紹介

2. これまでの流通BMS導入経験について

3. 流通BMS導入の流れ

4. 導入時の注意点

5. 導入後の注意点

6. 最後に

## 4. 導入時の注意点

### 【企業GLN (Global Location Number) の取得】

流通BMSでは、企業を示すコードとしてGLNを使用することになっておりますが、始めてのお客様では、「どこで、どのように取得すれば良いのか？」というご質問を受けます。

↓

流通システム開発センターのホームページの「コード登録」を参照いただくようご説明させていただいております。

### 【ドメイン名やグローバルIPアドレスの取得】

ドメイン名やグローバルIPアドレスの取得についても、「どこでどのように、どのように取得すれば良いのか？」というご質問を受けます。

↓

まずは、お客様のネットワーク管理をしている部署や会社にご相談していただくのが1番早いと思われ  
ます。

### 【SSL認証で使用する電子証明書の取得】

流通BMS対応の証明書を発行している株式会社インテック様、グローバルサイン株式会社様のホームページをご覧になると、流通BMS用の電子証明書取得方法について、詳しく記載されておりますので、まったく心配ございません。

また、取得には書類を書きますので、記述ミスなどの場合は差し戻しが発生し、予想外に時間を要しますので、余裕を持ったスケジュールを立てることをおすすめいたします。

**【F/W（ファイアー・ウォール）の設定】**

インターネットを使用したEDIの取引では、今まで以上にセキュリティ対策が重要となってきます。お客様のネットワークポリシーにより、方法はいろいろとございますが、弊社では下記のような方法を推奨しております。

例)

取引先のグローバルIP : 200.168.1.1    httpsポート : 10443

自社のグローバルIP : 200.168.9.9    httpsポート : 443

1) 取引先から自社への通信の許可

200.168.1.1:\* --- > 200.168.9.9:443    を許可

2) 自社から取引先への通信の許可

200.168.9.9:\* --- > 200.168.1.1:10443    を許可

下記のように取引先が送信サーバと受信サーバを分けている場合がありますので、ご注意ください。

例) 取引先

自社



このような場合は、取引先に送信サーバと受信サーバの両方のグローバルIPを教えていただく必要があります。

### 【ファイルサイズの問題】

既にご存知とは思いますが、今までは数K、数Mバイトであったデータが、XMLデータになることにより、10M、20Mといった大きなデータになります。

また、請求や支払いのように、月に1、2回まとめて送信するデータについては、100M以上にもなってきます。

通信ソフトはもちろんですが、XMLと固定長間の変換ソフトの処理に負荷が発生しますので、EDIサーバは、余裕をもったスペックにしておくことを推奨いたします。

また、本番前には、実際の取引量を想定したデータ量でテストを実施することを推奨いたします。

### 【発注項目引継ぎのしくみ】

メーカー・卸様側の課題になります。

流通BMSでは、出荷データのほとんどは、発注データで受けた項目をそのまま引き継いで返します。よって、発注データを蓄積しておき、それを参照することで出荷データを作成する必要があります。

このしくみをシステムに加える必要があります。

### 【梱包NOなどの桁について】

メーカー・卸様側の課題になります。

例えば、出荷梱包データの梱包NOですが、XMLスキーマの定義ではMAX36桁となっています。

MAX36桁とは、0000000000123456899876543210111111でも、123456899876543210111111でも正しい値です。

ただし、出荷梱包データを受けとる全ての小売様が同じ梱包NOの桁を要求していないので、取引先によって桁の調整が必要になります。

例)

A社へは、ゼロ詰め右充填で、36桁の梱包NO

B社へは、24桁の梱包NO



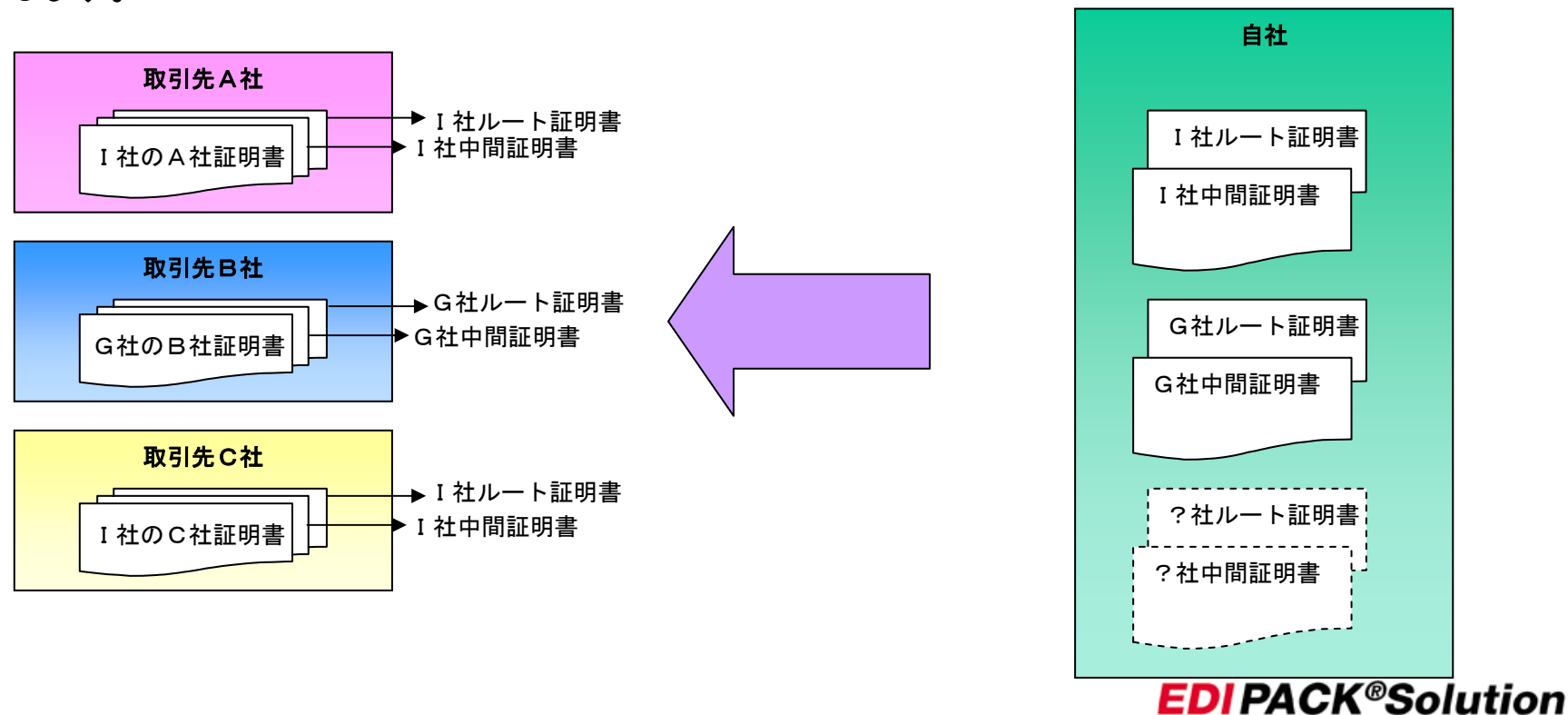
【複数の電子証明書の認証局】

流通BMSにおいて、SSLサーバ認証する場合、データの送信側は相手のルート証明書と中間証明書を信頼することが推奨されています。

次世代EDI共同実証以来、流通BMS対応の電子証明書発行は、最近までインテック社のみでありましたので、取引先が増えても、送信側は何もすることがありませんでした。

ただし、現在は、グローバルサイン社の電子証明書を取得する企業もありますので、インテック社とグローバルサイン社両方のルート証明書と中間証明書を設定しておく必要があります。

また、新しく、流通BMS用証明書発行企業が増えた場合には、速やかに設定しておくことを推奨いたします。



【障害対策】

ネットワーク障害やソフトウェアの不具合により、EDIのデータの送受信ができなくなった場合の回避策を、取引先と事前に決めておく必要があります。

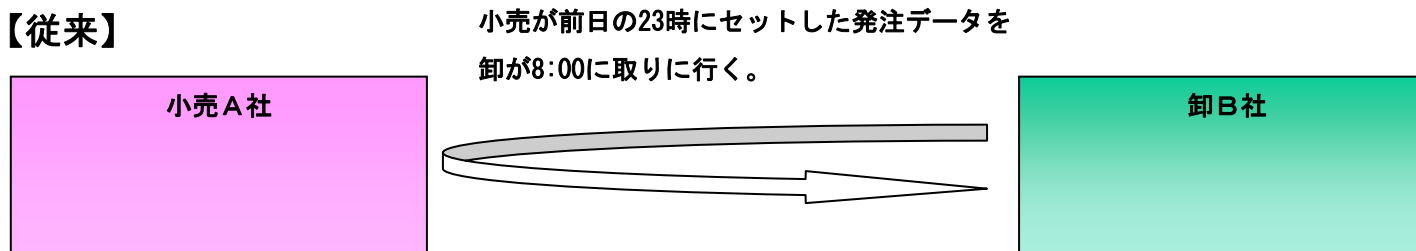
例) 電子メール、WEB-EDIなど・・・

【受信側のスケジューリング】

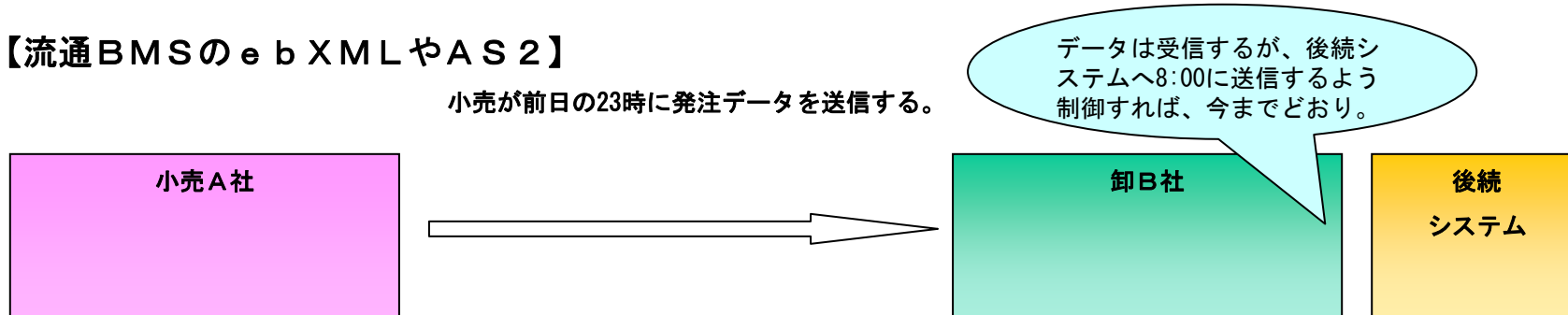
JX手順は別ですが、ebXMLやAS2では、データを作成する方が送信します。

JCA手順では、データを取りに行くメーカー・卸側がスケジューリングしていましたが、この部分が変わってきます。取引社間で、相談して調整していく必要があります。

【従来】



【流通BMSのebXMLやAS2】



1. 弊社の特長・業務内容のご紹介

2. これまでの流通BMS導入経験について

3. 流通BMS導入の流れ

4. 導入時の注意点

5. 導入後の注意点

6. 最後に

## 5. 導入後の注意点

### 【メッセージのバージョンアップ】

流通BMSで扱うメッセージは、XMLスキーマのバージョンアップという形で、項目追加や桁の変更などが行われてきています。

普及するに従い、不足項目や内容の見直しにより、メッセージのバージョンアップは今後も行われていくと考えられます。

よって、

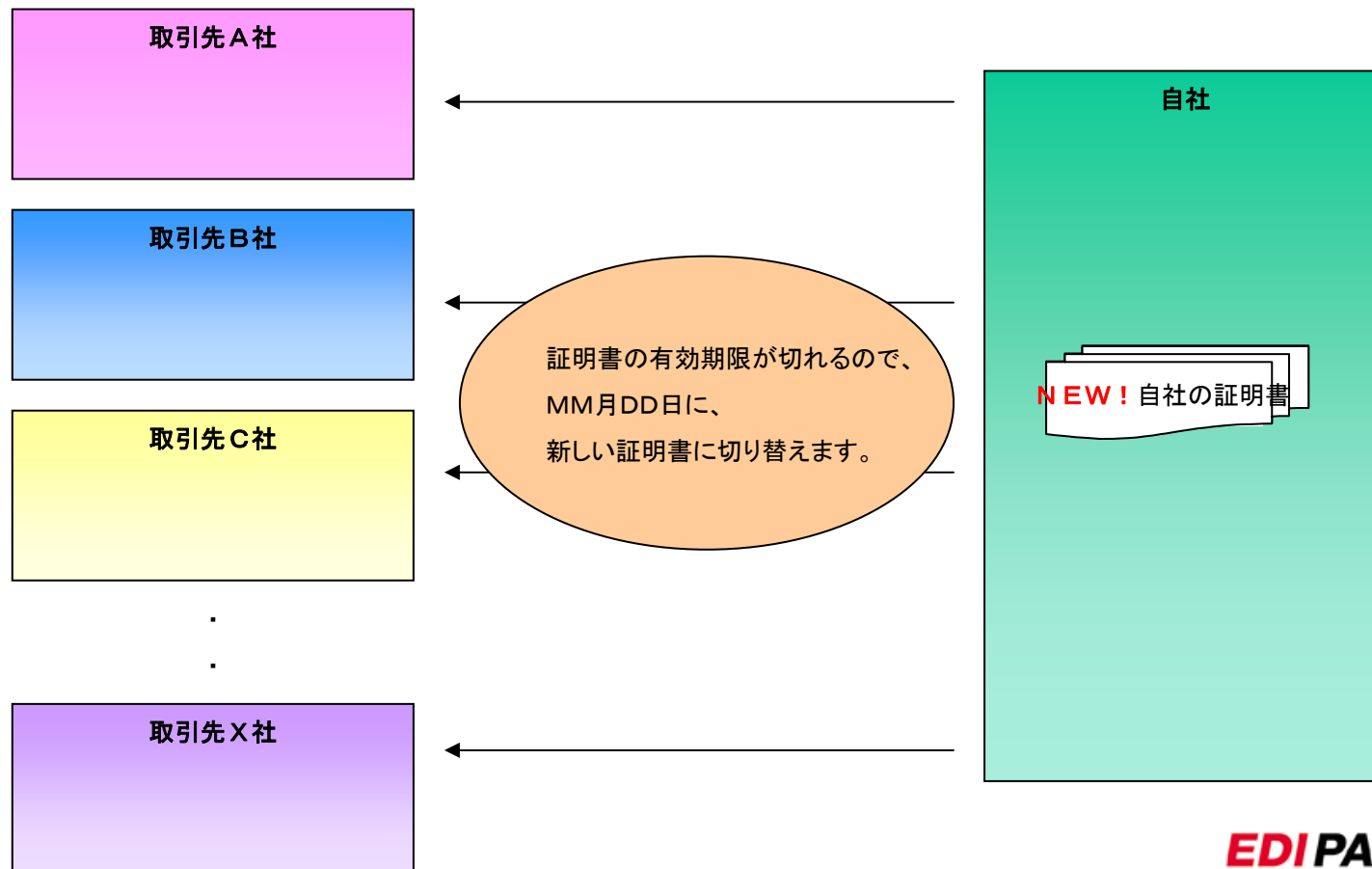
- ・ 項目追加や桁変更に対応できるようなしくみ
- ・ A社とはV 1. 1、B社とはV 1. 3のメッセージで取引するという状況も対応できるしくみ
- ・ 取引先のメッセージバージョンアップにスムーズに対応できるしくみ

を考慮したシステムを実現する必要があります。

**【電子証明書切替】**

来年度になると、平成18年度の共同実証時から流通BMSをスタートした企業においては、電子証明書の有効期限切れが発生します。

自社の証明書の有効期限切れは、証明書発行会社から1ヶ月以上前に連絡がきますので、速やかに取引先に証明書切替の案内を出すことを推奨いたします。そして、すぐに証明書切替の計画を立ててください。



**EDI PACK® Solution**

1. 弊社の特長・業務内容のご紹介

2. これまでの流通BMS導入経験について

3. 流通BMS導入の流れ

4. 導入時の注意点

5. 導入後の注意点

6. 最後に

## 6. 最後に

初期導入時には、いろいろな注意点があり、とまどうこともあるかと思いますが、  
ですが、最初の1社を稼働させることにより、2社目からはスムーズな運用が可能となります。

花王グループのASPサービスでは、流通BMSでやりたいという小売様のお声には積極的に対応し、  
共同実証当時は4社でありましたが、今では20社近くと取引しております。  
現在は、弊社の運用グループもスキルアップし、新しい流通BMSの取引先が増えた場合でも、スムーズに取引の準備が行えるようになっております。

流通BMSは、小売とメーカー・卸とIT企業が互いに協力し合って実現したすばらしいしくみです。

「流通BMSでメーカー・卸さんに展開したいが、どうしよう・・・。」

「流通BMSの取引を開始したいと小売さんから言われているが、どうしよう・・・。」とお悩みの小売様、メーカー・卸様の方々がいらっしゃいましたら、お気軽にエヌアイシー・インフォトレードまでご相談いただければと思います。

以上、ご清聴、ありがとうございました。



エヌアイシー・インフォトレード株式会社

□URL

<http://www.NlandCinfotrade.co.jp>

□メールアドレス

[NlandCinfotrade\\_sales@NlandC.co.jp](mailto:NlandCinfotrade_sales@NlandC.co.jp)

◆東京オフィス

〒135-0032 東京都江東区福住2丁目3番10号 朝日コンピュータビル4階  
TEL : 03-5621-5550 (代表) FAX : 03-5621-5678

◆大阪オフィス

〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町1丁目6番9号 ORE堺筋本町ビル(旧大阪ロプロビル)8階  
TEL : 06-6222-2920 (代表) FAX : 06-6222-6970

◆名古屋オフィス

〒461-0008 愛知県名古屋市東区武平町5丁目1番 名古屋栄ビルディング9階  
TEL : 052-253-6000 (日本情報通信株式会社 内)